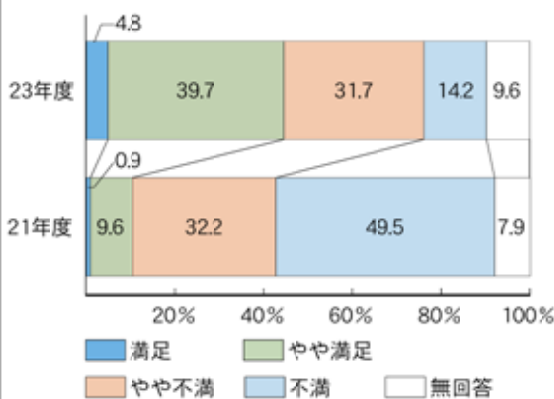


牧之原市の行政サービスについて

市の取り組みのうち、「救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制」に対して「満足」「やや満足」と回答した人が合わせて44.5%となっており、前回の10.5%から大幅に増加しています。

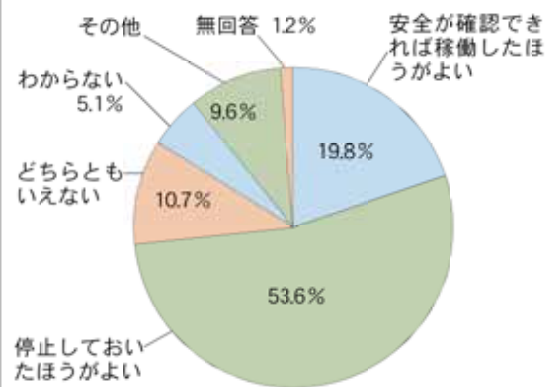
問 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制について満足しているか？



原子力発電について

浜岡原子力発電所の今後については「停止しておいたほうがよい」が53.6%で過半数を占めています。次いで「安全が確認できれば稼働したほうがよい」が19.8%ですが「停止しておいたほうがよい」の半分以下となっています。「その他」の中には廃炉などの意見が6.3%含まれています。

問 浜岡原発の今後についてどう思うか？



牧之原市 市民意識調査 結果のお知らせ

市民の7割が 幸せ!

市では、市民の意識や意向の変化、市の取り組みに対する満足度などを把握し、これからの市政に反映していくために、「市民意識調査」を実施しました。その結果がまとまりましたので、一部を掲載します。この調査は平成19年度から実施し、今回が4回目の調査となります。この結果は、今後の市政運営や政策展開の検討をする際の参考にしていきます。

詳細は、市ホームページに掲載しています。
HP <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>

調査の概要

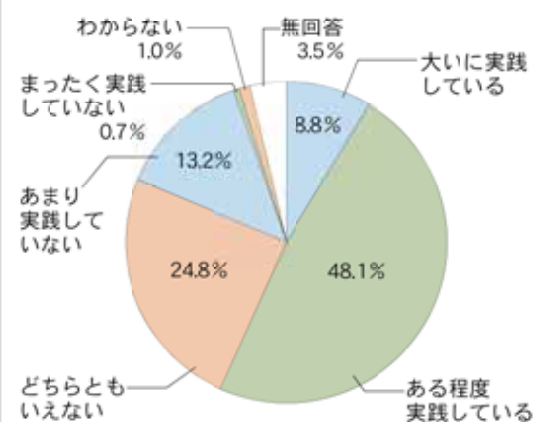
調査対象 市内在住（市内に住民票のある人）の20歳以上の男女
調査方法 無作為抽出による郵送配布・回収
調査期間 平成23年6月29日（金）～7月19日（金）
発送数 1,296通
有効回収数 605通
有効回収率 46.7%
*端数処理の都合上、合計が100%にならない場合があります。

問い合わせ 企画課 松久 ☎0040

環境に配慮した暮らしについて

資源を節約し有効利用するための行動として、節電、節水、リサイクルなどの活動を実践しているかについては、「ある程度実践している」が半数近くを占め、「大いに実践している」と合わせると6割近くを占めています。

問 節電、節水、リサイクルなどの活動を実践しているか？



また、「大いに実践している」「ある程度実践している」と答えた人に、実際に実践していることについて聞いたところ、

- 夜は家族が一つの部屋で過ごす
- 太陽光パネルの設置
- 緑のカーテンの設置
- 使っていない電気は消す
- 風呂の残り湯の再利用
- 徐々にLED電球化、省エネ家電化
- ゴミの分別をきちんとし、リサイクルできるものは必ず実施する

など、さまざまな取り組みが寄せられました。

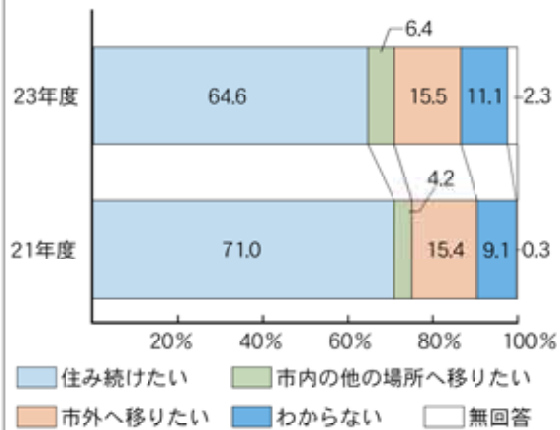
また、複数の取り組みをしている人も多く、節減意識の高さがうかがえました。

性別で見ると、「大いに実践している」は男性が10%で7.2%の女性をやや上回るものの、「ある程度実践している」は男性の41.9%に対して、女性は54.4%と過半数を越え、「実践している」割合は女性の方が約10ポイント高くなっています。

牧之原市に居住することについて

今回も「住み続けたい」が最も高い割合を占めています。また、年齢が上がるほど「住み続けたい」が高くなる傾向が見られ、「住み続けたい」と答えた人の理由では、「生まれ故郷だから」が最も多く、次いで「自然環境が豊かだから」が前回から大きく増加しました。

問 今の居住地に今後も住み続けたいか？



毎日の暮らしについて

現在、幸せだと思うかについては、「幸せだと思う」（「大いに思う」「ある程度思う」の合計）が約7割となっています。

幸せな生活のために必要なこととして、ほとんどの人が「健康であること」を挙げ、「家族との関係が良好なこと」「住まいがあること」が続いています。

問 今現在、幸せだと思うか？

